

2019年度 自己評価表  
YMCA米子医療福祉専門学校

1. 学校の教育目標

本校は開校 26 年目となるが、少子化や新設校、競合校などの外的要因および施設の老朽化などの内的要因により、年々学生数が減少している。2019 年度は、中期計画を基に既存学科における課題の分析を行い、学校運営を安定させるための方策を仔細に検討し、方針を明確に打ち出していきたい。

その上で、YMCAの基本理念である「愛と奉仕の精神」を尊重し、人間性豊かで、専門的知識・技術・態度を身に付け、地域に貢献できる人材の養成を行い、伝統校として米子市はもとより、山陰地方になくてはならないと認められる学校であることを目指したい。

1. 日本YMCA中期計画を推進する。

2. 既存学科における課題の分析を行い、今後どのような運営を図るのか検討する。

3. 学校経営の基盤となる学生数確保に向けた取り組みの強化に努める。

①募集戦略委員会を中心に広報の強化を図る。

②入試改革ならびにオープンキャンパス内容の見直しを行う。

4. 教育の質向上を目指した取り組みの強化を行う。

①丁寧な教育と学生支援を強化して、休学率・退学率の低減を図る。

②国家試験の合格率の維持・向上を図る。

③2020 年に予定されている指定規則改定に備え、新カリキュラムの策定準備を進める。

5. 経費削減の徹底を図り、収支を維持する。

6. 老朽化した備品や施設の更新を計画的に行う。

7. 鳥取大学医学部、島根大学との連携を強化し、講師陣の充実をアピールする。

2. 評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標（大床）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
	④	3	2	1
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
2. 学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
4. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

①課題

- ・3 どの科も社会経済ニーズは高いと思われるが、入学者数に反映していなかったり、求人数に結びついてない。

②今後の改善方策

- ・3 安定的に学校運営を行うために入学者の増加に努めることや、求人数の増加のための、具体的な将来構想を検討する。

③特記事項

- ・学校の理念、入学者の受へ入れ方針、卒業認定・称号授与の方針は学生便覧に記載し、ホームページに公開した。

(2)学校運営（三谷）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
	④	③	2	1
1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
2. 目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
3. 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
4. 人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
5. 教務、財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④	3	2	1
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
7. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①課題

- ・2 予算が限られおり、老朽化した備品や施設の更新を一括で行うことが難しい。
- ・8 PCが老朽化して速度が遅い。

②今後の改善方策

- ・2 指定規則の改正を受け、必要な備品は3ヵ年で計画的に整備する。
- ・8 広島YMCA本部が一括してリース契約を行っており、米子だけの入れ替えは難しいが、2020年1月には windows10 を導入する。

③特記事項

- ・2 近い将来、全館の蛍光灯をLEDランプに交換する予定である。

(3)教育活動（岩崎）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 理念、教育課程編成方針、卒業認定・称号授与の方針、等に沿った教育課程編成方針等が策定されているか	④	3	2	1
2. 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
3. 学科等のカリキュラムは指定規則を踏まえ、体系的に編成されているか	④	3	2	1
4. 教育課程について、外部の意見を反映しているか	④	3	2	1
5. 実践的な職業教育(臨床実習、施設実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
6. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
7. 学校が主体となって実習指導者の教育の質を高め、一定の教育水準を担保する取組みが行われているか	④	3	2	1
8. 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
10. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
11. 学生の様々な課題に対応するためのサポート体制の整備や、定期的な学生面談、必要に応じて個別指導などを実施しているか	④	3	2	1
12. 卒業認定・称号授与の方針に示す能力や特性を身につけた者を教育する要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
13. 関連分野における業界との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するマネジメントが行われているか	④	3	2	1
14. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成や教職員の学生対応など、教職員の資質向上が行われているか	4	③	2	1
15. 教員が臨床能力維持・発展させ、専門教育を行うための環境を整備できているか	4	③	2	1

①課題

- ・3 新指定規則(介護福祉士科)に沿って、教育課程を作成中。
- ・14 教員の資質向上や教職員の学生対応など、学校全体の研修が必要。
- ・15 個人の努力により行われている。

②今後の改善方策

- ・3 情報収集しながら、進める。
- ・14 学校全体の研修を計画的に進める。
- ・15 臨床能力を維持・発展させるための環境整備について検討する。

### ③特記事項

- ・1. 2. 5 理念、入学者受け入れ方針、卒業認定・称号授与の方針、教育課程編成の方針を整備した。
- ・3. 5 新指定規則(理学療法士科・作業療法士科)について検討し、申請、認可された。
- ・7 臨床実習指導者講習会(理学療法士科・作業療法士科)、実習指導者会議(3科)の開催を行っている。  
新指定規則(理学療法士科・作業療法士科)について検討し、申請、認可された。
- ・12 教員講習会(3科)とも順番で参加している。

### (4)学修成果 (増田)

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 就職率に関する目標設定はあるか	④	3	2	1
2. 関連する企業等と共催で就職ガイダンスを行うなど、就職に関して関連企業等と連携しているか	④	3	2	1
3. 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
4. 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
5. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

#### ①課題

- ・4 対応は講じているが一定の退学者が出ている
- ・5 卒業生の評価や活躍している情報を在校生に周知し、学習意欲の向上に役立てる必要がある。

#### ②今後の改善方策

- ・4 休退学チェックリストを用いて丁寧に対応し、学生の変化に早期に気付けるように努める。
- ・5 卒業生・在校生の社会的な活躍・評価を、臨床実習指導者会議、実習地訪問、アンケート等で情報収集できる仕組みを整える。

### ③特記事項

### (5)学生支援 (馬場)

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 進路就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
3. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
6. 学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
7. 保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1

8. 卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
10. 高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1
11. 学生自治会へのアドバイスや支援を行っているか	④	3	2	1

①課題

- ・1 就職活動が厳しくなっており、企業による就職説明会の開催だけでなく、教員による面接試験の練習や履歴書の記入チェックなども行っている
- ・2 教員による学生相談体制は十分だと思うが、それでも退学を防ぎきれない

②今後の改善方策

- ・1 就職活動を支援する体制を、学校を挙げてさらに作り上げていく
- ・2 新たに学生間のピアサポートなども導入を検討したい

③特記事項

- ・11 学生自治会の自治を損なわないように、会計や監査・予算決算方法など管理部門の手法を支援しているとともに、学園祭では実行委員長をサポートし、準備・運営の仕方・期限決めなどで支えている。

(6)教育環境（増田）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
2. 学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
3. 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1
4. 学内における安全管理体制を整備し適切に運用しているか	4	③	2	1

①課題

- ・1 図書や備品の充実を図る必要がある。
- ・3 備品の転倒防止などの安全管理が不十分である。

②今後の改善方策

- ・3 防災体制の整備は重要であるので、災害発生時に適切に対処するためのマニュアルの整備を進める。また、次年度は避難訓練の消防署指導を計画している。
- ・4 学生委員会を中心にマニュアル整備を進める。現状として、学校災害マニュアルの情報収集をしている。

③特記事項

- ・教職員の緊急連絡網を整備した。

(7)学生の受入れ募集（竹井）

評価項目	適切…4、ほぼ適切3、 やや不適切…2、不適切…1			
1. 学生募集は、適正に行われているか	4	③	2	1
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
3. 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	④	3	2	1
4. 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
5. 上記の募集活動の結果、定員を満たしているか	4	3	②	1

①課題

- ・1 SNSを使った広報など、スマートフォンを活用した広報の取り組みが弱い。
- ・5 定員が埋まらない

②今後の改善方策

- ・1 Twitter や Instagram の見せ方を研究し、また更新も頻回に行う。
- ・5 AO 入試の回数を増やす。
- ・5 オープンキャンパスの回数を増やす。
- ・5 進学塾へのアプローチ

③特記事項

- ・1 開校26年目とはいえ、まだまだ本校の存在をご存知ない米子の方が多く居られる。高校生・高等学校にだけに目を向けた募集活動をするのではなく、広く本校の存在を知っていただくためのイベントとして、市民公開講座(年3回)、アイリッシュハーブコンサートを実施した。

(8)財務（三谷）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
2. 予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
3. 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

- ・1 学生数が減少し、不安定な部分もある。

②今後の改善方策

- ・1 今年度策定した中長期的な5カ年計画に基づき、運営を安定させていきたい。

③特記事項

(9)法令遵守（三谷）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
3. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
4. 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①課題

- ・3 自己点検評価で課題となっている項目について、如何に改善を図っていくかが、余り検討されていない。

②今後の改善方策

- ・3 課題となっている項目について優先順位をつけ取り組む。

③特記事項

(10)社会貢献・地域貢献（馬場）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
3. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

- ・鳥取県理学療法士会・作業療法士会・介護福祉士会と連携し、研修や学会など共催も多く実施
- ・YMCA系のボランティアだけではなく、各団体と連携して様々なボランティアを紹介・参加している
- ・各種団体と協力して、小学生向けの職業体験なども実施している